

平成30年(2018年)12月12日

保護者の皆様

札幌市立栄東小学校

校長 小柳 俊夫

全国学力・学習状況調査の結果概要について

寒冷の候、保護者の皆様におかれましてはますます御健勝のこととお喜び申し上げます。
また、本校の教育活動に対しまして御理解と御協力を賜り、感謝申し上げます。

さて、今年4月に6年生を対象に実施した全国学力・学習状況調査の結果について、本校の概要をお知らせいたします。この結果を本校の教育活動に生かし、指導方法の改善を図ってまいります。

1. 実施日 平成30年4月17日(火)

2. 調査の内容

*教科に関する調査

| 主として「知識」に関する問題 (国語A・算数A・理科) | 主として「活用」に関する問題 (国語B・算数B・理科) |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容 実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など | <ul style="list-style-type: none"> 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力などにかかわる内容 様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などにかかわる内容など |

*児童に対する質問紙調査

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査 |
|--|

3. 実施人数(小学6年生) 本校: 88人 全国: 1,030,026人

4. 本稿の概要

※教科に関する調査結果

6年 国語

<区分及び領域>

※全国平均に比べて

- A：主として「知識」に関する問題**
- ◇「話すこと・聞くこと」
 - ・ほぼ同程度であるが、やや上回る。
 - ◇「書くこと」
 - ・ほぼ同程度であるが、やや下回る。
 - ◇「読むこと」
 - ・下回っている。
 - ◇「言語事項」
 - ・下回っている。
- B：主として「活用」に関する問題**
- ◇「話すこと・聞くこと」
 - ・下回っている。
 - ◇「書くこと」
 - ・下回っている。
 - ◇「読むこと」
 - ・ほぼ同程度であるが、やや上回る。

今回の調査における課題

- ▽話し手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べながら考えをまとめること。
- ▽目的や意図に応じて、内容の中心を明確にして、詳しく書くこと。
- ▽前の学年までに配当されている漢字を正しく書くこと。

改善の方向

- 互いの発言の意図を理解しながら、互いの考えを基にし、自分の考えを広めたり、まとめたりできるような話し合い活動の充実。
- 目的や意図に応じて書く等の学習活動を設定し、根拠を明らかにしながら、自分の考えをまとめて書くことができるようにする指導の充実。
- 漢字のもつ意味を考えながら書いた文章を読み合う活動等により、文や文章の中で正しく使うことができるようにする指導の充実。

6年 算数

<区分及び領域>

※全国平均と比べて

- A：主として「知識」に関する問題**
- ◇「数と計算」
 - ・ほぼ同程度であるが、やや下回る。
 - ◇「量と測定」
 - ・下回っている。
 - ◇「図形」
 - ・ほぼ同程度であるが、やや上回る。
 - ◇「数量関係」
 - ・ほぼ同程度であるが、やや下回る。
- B：主として「活用」に関する問題**
- ◇「数と計算」
 - ・下回っている。
 - ◇「量と測定」
 - ・下回っている。
 - ◇「図形」
 - ・下回っている。
 - ◇「数量関係」
 - ・下回っている。

今回の調査における課題

- ▽小数の除法の計算の意味について理解したり、計算の仕方を考えたりすること。
- ▽分度器を用いたり、角の大きさを回転の大きさと捉えたりして角の大きさを求めること。
- ▽グラフの特徴を基に、複数のグラフを関連付けて考察すること。
- ▽図形を見いだす際に図形の構成要素や性質を基に観察したり、判断したり、説明したりすること。

改善の方向

- 小数の仕組みを理解し、計算のきまりを確実に理解できるような指導の充実。
- 角の大きさの見当を付けて測定したり、測定の方法や結果を考察する活動の充実。
- 他者が読み取った情報をグラフと関連付けて考察したり、その情報が適切かどうか判断したりする活動の充実。
- 正多角形の内角や外角の大きさ等について敷き詰め等の活動を通して性質を見いだしたりする指導の充実。

6年 理科

<区分及び領域>

※全国平均に比べて

「知識」「活用」に関する問題

- ◇「物質（粒子）」
 - ・下回っている。
- ◇「エネルギー」
 - ・下回っている。
- ◇「生命」
 - ・ほぼ同程度であるが、やや上回る。
- ◇「地球」
 - ・下回っている。

今回の調査における課題

- ▽物を水に溶かしても全体の重さが変わらないことを、食塩を溶かして体積が増えた食塩水に適応すること。
- ▽実験結果から言えることを記述すること。
- ▽電流の流れ方について、予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して実験を構想すること。
- ▽土地の浸食について、実験結果を基に分析して考察し、その内容を記述すること。

改善の方向

- 既習の内容や生活経験と関係付けて話し合うなど、自然の事物・現象を捉えるような活動の充実。
- 自らの予想や仮説を基に実験計画を立て、実験結果を見通すことができるような指導の工夫。
- 原因と結果を分析し、考察したことを説明したり、実験結果を根拠にして判断した理由を説明したりする指導の充実。

※児童に対する質問紙調査の結果から

- ・ 全国と比べて、読書が好きな子が多い。
- ・ 全国と比べて、「理科の勉強が好きで、授業内容を理解している。」と答えたな児童の割合が多い。
- ・ 全国と比べて「理科や科学技術に関する仕事に就きたい。」と答えた児童の割合が多い。
- ・ 学校の宿題をよくしているという児童が多く、約9割の児童がしっかりと取り組んでいる。しかし、自分で計画を立てて勉強している児童は少ない。
- ・ 全国と比べて、算数の勉強は大切だと思っているが、好きではない子どもの割合がやや多い。
- ・ 全国と比べて、「自分に、よいところがある。」と思っている児童は少ない。
- ・ 全国と比べて、地域に対する意識がやや低い。

5. 改善の手だて

- ・ 各教科の中で、課題となっている領域の内容を学習し、習熟を図る。
- ・ 日常の授業において、思考力、判断力、表現力等を高めることに重点を置き、子どもの思いや願い、考えなどを言葉や文字に表す活動を充実する。
- ・ 児童の自己有用感が高まるような教育活動を家庭・地域と連携しながら推進していく。